

## 児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2024年 2月 15日

事業所名 こどもサポート教室「きりり」廿日市校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4		大部屋と小部屋が1階と2階にあり、特性や活動に合わせて使い分けていきます。	市の規定に沿って定めています。
	②	職員の配置数は適切である	4		配置基準よりも多く職員が在籍しています。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	2	2	刺激になりえるものは2階に置いておいたり、パーテーション等を用いて視覚刺激を軽減したりしています。	階段が急であり、トイレが2階にありますが、手すりもあり、利用時には必ず職員が同伴できる体制を整えています。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	4		清掃や除菌を行い、衛生的に保っています。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	4		毎週目標設定を行い、目標達成に向けて活動しています。	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4		4月開所のため、初めての事業所評価ですが、保護者様の意見により、業務向上に努めています。	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4			本校では初めてですが、今回の結果を公開し、改善に努めています。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	1	第三者委員会を設置しています。	外部評価につきましては今後行っていく予定です。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4		オンラインでの社内研修、事例検討会、外部への研修に積極的に参加しています。	その他必要な研修の情報を校舎内で共有していきたいです。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	4		支援員と児童発達管理責任者だけでなく、その他職員とも共有しています。	今後も校舎全員で児童にかかわり、その子に合わせた支援を提供できるよう努めます。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4		その子に合わせたものを使用しています。	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	3			

	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	4		個別支援計画に沿ったプログラムを立てています。		
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	3	1	朝礼の中で利用児さんの様子を共有し、プログラムを立てています。		
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4		利用児さんの発達に合わせて様々な活動を行っています。		
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	4		毎月小集団のイベントを実施しています。		
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	1	3	朝礼を行っています。	休みの職員にも伝達しています。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	2	2	翌日の朝礼で共有しています。		
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4		支援後に必ず作成し、支援の改善につなげています。	当日中に作成できない場合にも翌日には記入しています。	
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	4		お子様の発達に合わせて3~6か月で行っています。		
	関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4		担当指導員や児童発達管理責任者が参加しています。	
		㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	3	1	定期的に話をしに伺い、関係機関の方針にも寄り添えるように活動しています。	
		㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	1	2	看護師が不在のため、受け入れを行っておりません。	
		㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	1	2	看護師が不在のため、受け入れを行っておりません。	
		㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	2	2	今後、保護者の希望に応じて行います。	現在は該当児がいないため行っていないが、ニーズに合わせて行っています。
		㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3	1	今後保護者の希望に応じて行います。	現在は該当児がいないため行っていないですが、ニーズに合わせて行っています。
		㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	1	現在は計画段階ですが、行っていく予定です。	
		㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	4		毎月地域の子にもご参加いただけるイベントを開催しております。	今後も、様々な施設と連携を取りながら、様々な子と関わる機会を設けていきたいと考えております。

					市民センターとの共催イベントも実施いたしました。	
	②9	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子どもの子育て会議等へ積極的に参加している	4		協議会の情報が入れば参加するようにしています。	
	③0	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4		支援後保護者の方と話す時間を設けており、お互いに話をしています。	
	③1	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	2	1	現在希望者がいないため、行っていませんが、希望や必要時には行っていきます。	
保護者への説明責任等	③2	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4		契約、変更時に行っています。	
	③3	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	4		保護者の方の希望と合わせて作成した支援計画を基に説明を行い、同意を得ています。	
	③4	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4		計画の更新時に聞き取りを行っています。相談があれば、そのたびに対応しています。	
	③5	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		4	希望者がいないため、行っていません。	ニーズに合わせて開催していきたいです。
	③6	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	4		現段階では申し入れなく運営しておりますが、もし申し入れがあった場合には、相談受付担当者を中心に迅速に対応していきます。	
	③7	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3	1	ブログやSNSで発信しています。	
	③8	個人情報の取扱いに十分注意している	4		個人情報の記載のある書類は鍵のついたロッカーに保管しています。	
	③9	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4		個々に応じてお対応しています。	
	④0	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	4		公民館でイベントを行ったり、消防車に来ていただくイベントを開催したりしました。	今後も様々な施設や機関と協力しながら、地域の方と交流していきたいと考えています。
	非常時等の対応	④1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	4		マニュアルを作成し、玄関に設置しています。定期的に法定研修に全職員参加しています。
④2		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4		月1回の防災訓練を行っています。	
④3		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	4		アセスメントの際に確認を行っています。	

④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	2	2	該当児がいないため、実践例がありません。	該当児がいれば、適切に対応を行っています。
④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4		小さな事例であっても作成し、再発防止に努めています。	
④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4		定期的な研修や話し合いの機会を設けています。	
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	4		契約時に説明を行い、同意を得ています。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

## 児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2024年 2月 15日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」廿日市校

保護者等数（児童数）：3

回収数：2

割合：66%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	2					
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	2					
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	1	1				
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	2					
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	2					
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	2					
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	2					
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	2					
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1			1		
保護者への説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	2					
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	2					
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか		1		1		

	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	2				
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	2				
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか			1	1	
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	1			1	
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	2				
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	1			1	
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	2				
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	2				
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	2				
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	2				
	㉓	事業所の支援に満足しているか	2				

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。